

さみどり

二宮町立一色小学校 学校だより
令和2年度 第3号(7/9)



発行責任者：校長 古正栄司
一色小学校：0463-71-1543

4週間の分散登校期間を経て、6月29日(月)から通常登校が始まりました。2年生から6年生は、久しぶりの仲間との再会を喜び合う姿が多く見られました。1年生は4月6日の入学式以来初めて、クラス全員での授業・給食となりました。

分散登校

30年以上の教師生活ですが、私にとっても「分散登校」は初めての経験です。想像はしていましたが、世の中、やってみないとわからないことはたくさんあるものです。価値観が多様化し、個性が尊重される今の時代、これもありだと思いました。なにしろ教師の目が十分行き届き

ます。落ち着いて集中できる学習空間になります。↑【4月6日の入学式 35名の新入生】↑
休み時間のトイレや手洗いの順番待ちストレスから開放されます。今年度の3年生は23人、2年生は25人ですが、実は適正規模なのかもしれないと思ってしまいました。3か月以上学校生活のリズムから遠ざかっていた2年生以上にとって、少人数で短時間の登校は、リハビリ的な意味でも、新しい生活様式の定着を図る上でもとても重要な意味を持った4週間であったと感じています。



【非接触型体温計】

学校での健康観察用に、教育委員会が揃えてくれました。



【健康観察スペース】

南北昇降口それぞれに設置し、教室に入る前に健康観察を済ませました。

分散登校中に、5年生は田んぼの準備

分散登校とはいえ、久しぶりの学校、久しぶりの仲間との交流。休校中は世間は自粛ムードに包まれ、なんとなく周囲の目も気になるので外に自由に出ることもできず、ストレスはたまり放題だったことでしょうか。ですから、初めのうちは真面目にみんなで協力して作業をしていました・・・

少しリラックスしてきたかと思っていたら・・・



こうなりました。
(笑)



熱が37°Cある・・・困った・・・

「体温が37°C」と聞くと、「困った」と感じる人が多いと思います。しかし、中には「大したことない」と思う人もいて、その反応は分かれます。

実は37°Cは日本人の平均的な平熱の範囲なので、「発熱」でないことのほうが多いそうです。

「感染症法」では37.5°C以上を「発熱」、38°C以上を「高熱」と分類しています。新型コロナウイルス騒動で「37.5°C以上の熱」という数字は、何度も耳にしたと思います。平熱が37°Cの人が37.5°Cある場合と、平熱が36.5°Cの人が37.5°Cの熱がある場合とでは、発熱の程度・体へのダメージに違いがあります。従って、自分や家族の平熱を知っておくことは、とても大切なことなのです。食後すぐは体温が上がるので、食前や食間に検温するのが適切です。また、1回だけでなく日をおいて何回か測ってみるのが良いでしょう。そんなふうにして、自分の平熱を知っておくと良いでしょう。



最近のコミュニティ・スクールの様子

6月23日に一色小学校の会議室で、今年度第1回目の学校運営協議会を行いました。9人の外部委員と6名の一色小学校教職員で構成する協議会です。何を協議するのかというと、協議会で承認された学校教育目標や学校経営方針に基づいて、学校だけに任せるのではなく、保護者や地域住民がそれぞれの知恵と力を出し合い、子どもたちの成長を学校と共に支援していくための在り方についてです。学区内の地区長さんや自治会長さん、PTA会長さん・元会長さん、主任児童委員さん、民生委員・児童委員さん、一色小学校区地域再生協議会事務局長さんなど、様々な立場から学校を見守ってくださる方々が委員になっています。今年度は「学び交流部会」「校外安全部会」「学校環境部会」の三部会によって学校運営協議会を進めてまいります。

大雨・台風等、気象警報発令時の対応について

※

朝6時の時点で気象庁から二宮町に対して「大雨(土砂災害)」「洪水」「暴風」「大雪」の警報が出されている場合に、

- 登校を遅らせる(始業時刻を遅らせる)
- 午前中授業とし、給食後放課
- 臨時休校

などの対応をします。対応については「マチコミメール」でお知らせします。天気予報等で悪天候が予想される場合は前日のうちに予告メール(「明朝、台風の接近に伴い、登校時刻等を変更する場合があります。メール配信にご注意ください。」など)を配信するようにしていますが、急な警報のため今回(7/6)は予告ができず、朝のメールに慌てたご家庭が多かったかもしれません。申し訳ありませんでした。

さて、今回は登校を1時間遅らせるという対応でした。大雨警報の解除は当日の23時25分でした。「大雨警報発令中なのに、1時間遅れで登校させるのはなぜか」という疑問にお答えします。

登校を1時間遅らせることで、

- ◇付き添いや見守りの呼びかけ
- ◇学校職員による事前の通学路安全点検
- ◇学校職員による登校時見守りの体制づくり
- ◇登校させた後の下校時の天候や下校方法の確認
- ◇地域の見守り活動の方々への連絡
- ◇その後の対応を検討するための情報の収集 等

を行い、子どもたちの安全を最優先しながらも、その日の教育活動や給食のことなども併せ考えながら最終判断します。従って、いつも1時間遅れで登校させるわけではありません。1回目のメール配信後に追加の対応を決め、2回目のメールを配信することもあります。朝の4時や5時の段階では下校時の天候を詳細に知ることは難しくても、8時、9時になると14時、15時頃のより精度の高い予報を確認することができます。朝6時の段階で上の4つの警報のいずれかが発令させていたら臨時休校と決めてしまうこともできますが、様々な影響も考えなければなりません。

今後も様々なご意見を伺いながら対応について検討します。



※・・・これ以外に気象庁では「暴風雪」「波浪」「高潮」の警報を発令しています。